

町長さんのお話

私たちは、総合的な学習の時間に、上川口の地域のことについて学習しています。その中で「むくげの花の少女」のことを調べています。

これまで、実際にお墓へ行って調べたりお墓の掃除をしたりしました。また、むくげの花やお墓を作った人のことも調べました。

6月24日は、町長さんが「むくげの花の少女」「朝鮮国女の墓」についてお話にきてくださいました。少女は朝鮮半島の南原市から連れてこられたこと、韓国の国の花がむくげの花であることなどを詳しく教えてくださいました。

それに、4年前に韓国の人がお墓参りに来ていたこともお聞きしました。そのことを聞いて、すごいことだなと思いました。

最後に町長さんがお話してくれたのは、「むくげの花の少女」の作者である植野さんが伝えたかったことです。「国・民族・人種が違っていても、みんな家族」ということが心に残りました。



(上川口小学校 6年 鈴木 麗)

オーディション

7月5日、音楽祭に向けて、木きんのオーディションをがんばりました。

音楽室に行くと、とらじろうさんがウインドチャイムをやっていました。鉄きんはみんなきれいな音が鳴っていました。いよいよ自分の番です。心ぞうがドックドックと鳴っていました。そして、始めると、ダンダンダンダンダンダンダンダン。

「レースファミリー」終わり。池本先生が「いっぱい練習したがやね」と言っていました。

3日後。
「オーディションした人のこつてください」と池本先生が言いに来ました。

「やったー」
さけびました。発表や。

「まず木きんの人。
ふうこさんとるかさん合かくです。でも、夏休み練習に来てください」え。それは聞いてない…。
ああー。
まあ合かくしたけんええか。



(入野小学校 4年 奥本 楓子)

親子レク

7月7日に親子レクがありました。親子レクの目的は、学年の仲を深め、親子どもが交流する場を作ることです。

今年は例年とは異なり、体育館内の室温が高いため、熱中症対策として、試合を行わないチームは、ランチルームで他チームの試合をリモート観戦しました。声援がなく、少し寂しい親子レクでした。しかし、全学年、事前に練習を沢山積んでいたのがラッキーが続き、親チームとも対等に闘うことができて、とても楽しかったです。

また、先生と親の、普段は見られない表情や姿勢が見られたので嬉しかったです。私たちも、親チームに勝つために懸命に取り組むことで、より一層、互いの仲が深まりました。今後様々な行事を通して仲を深め、活気あふれる学校にしていきたいです。



(佐賀中学校 3年 川崎 麻白)